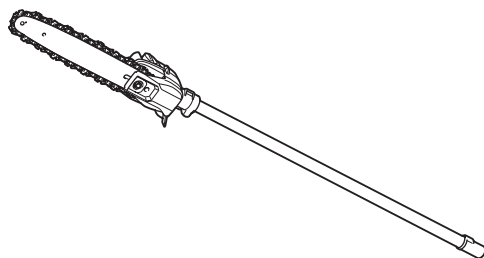




取扱説明書

ポールソー アタッチメント

モデル EY402MP



このたびはポールソーアタッチメントをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 各部の名称および標準付属品	7
・ 使い方	8
・ 製品への取り付け	8
・ チェーン刃の取り付け・調整および取りはずし方	9
・ チェーンオイルの補充方法	13
・ 切断作業	14
・ 樹木の剪定	15
・ 保守・点検について	16
・ 上刃および横刃の目立て	16
・ デプスゲージの調整方法	18
・ ガイドバーの清掃	19
・ スプロケットカバーの清掃	19
・ オイル吐出口の清掃	20
・ スプロケットの交換	21
・ グリスの補給	21
・ 保管	22
・ 故障かな？と思ったら	23

主要機能

主要機能		モデル	EY402MP
ガイドバー長さ			250 mm
チェーン刃	型式		25AP-60
	ゲージ		1.3 mm (0.050")
スプロケット刃数			9
チェーンオイル			マキタ純正チェーンオイル
給油方式			自動
オイルタンク容量			0.16 L
本製品寸法			長さ 1,162 mm × 幅 88 mm × 高さ 102 mm
質量			1.6 kg (ガイドバー、チェーン刃含む)

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

ポールソーアタッチメントを安全に使用いただくため、次の事項を必ず守ってください。

1. 本機をお使いになる前に

- ・ 本機は枝切り専用機です。不測の事故を防ぐため、本来の使用目的以外には使わないでください。
- ・ 本機は高速回転するチェーンを装備しています。操作を誤ると大変危険です。次のような場合は作業を行わないでください。
 - ①疲労など体調が悪い場合や、かぜ薬の服用時、飲酒時での作業。
 - ②風の強い日や降雨、雷など天候の悪いとき。
 - ③夜間や濃霧など、周辺の状況判断がむずかしいとき。
 - ④子供や、説明を受けていない人には使用させないでください。
- ・ 作業は 30 ～ 40 分を限度とし、10 ～ 20 分休憩を取り、決して無理な作業はしないでください。
- ・ この取扱説明書は必ず保管して、分からないことがあった場合、必要に応じてご参照ください。
- ・ 本製品を譲渡または貸与するときは、使用方法の説明とともに、この取扱説明書を必ず添付してください。
- ・ 本機を雨の中や水のかかる場所で使ったり、雨ざらしにしないでください。また、濡れた場所に置かないでください。感電、焼損・発火による火災、故障、けがに至る恐れがあります。
- ・ 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。

2. 服装、防護具の着用

- ・ 作業に適した服装、および防護具（保護帽、保護メガネ、安全靴、防振手袋、耳栓、長そで、長ズボン等）を着用してください。

3. 作業前の点検

- ・ 作業前には必ず各項目に従って点検を行ってください。
- ・ 点検は必ず停止した状態で行ってください。
- ・ チェーン刃着脱や目立て時にはけが防止のため必ず丈夫な手袋を着用して作業してください。
- ・ 本機の改造、分解はしないでください。故障や正常な操作ができなくなる危険性があります。
- ・ 各ボルト、ナット、シャフトにゆるみやガタつきがないこと、特にチェーン刃回りの組込みが完全なこと、ギヤケースの支持部にガタつきがないことを確認してください。
- ・ チェーン刃やガイドバーに「亀裂」「欠け」「曲がり」などがいないことを確認し、異常のある場合は新品のチェーン刃やガイドバーと交換してください。
- ・ 交換部品はすべて、純正部品を必ず使用してください。特にチェーン刃やガイドバー取付部への代用部品の使用はさけてください。

4. 作業時の注意

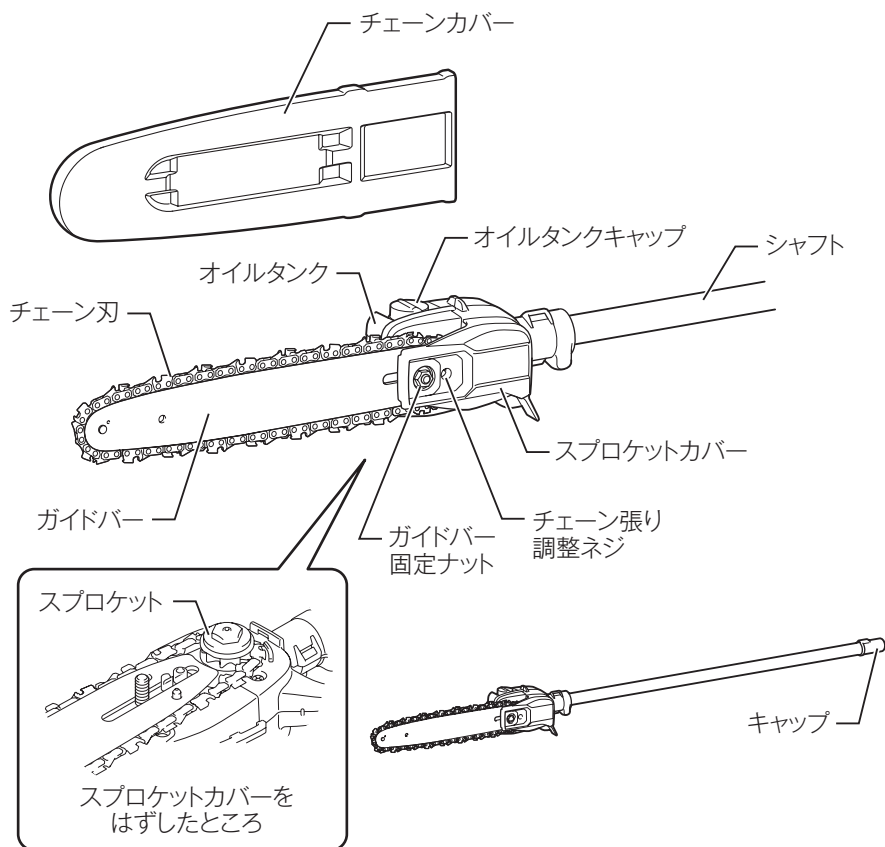
- ・ 製品始動の際、周囲に人がいないこと、ガイドバーやチェーン刃が地面やその他のものに触れていないことを確かめてください。
- ・ 使用中は半径 15 m 以内に他の人や動物などを近づけないでください。また、2 人以上で作業を行うときはお互いに 15 m 以上の間隔を取り、監督者を置いてください。使用中、15 m 以内に他の人や動物などが近づいた場合は、ただちに本機を停止し作業を中止して注意をうながしてください。不用意に他の人や動物などを近づけると事故の原因になります。
- ・ 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ・ 使用中は、製品を両手で確実に保持し、体重が両足にかかるように適度に足を開いて使用してください。その際、ハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。また、本機専用ハーネスを必ず着用してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・ 製品は体の右側に配置してください。ハーネスを着用し、両手でハンドルを保持してください。
- ・ 使用中、異状振動や異常音を感じたら、ただちにスイッチを切り詳細に点検してください。
- ・ 転倒や不意の姿勢変化により、本機が作動して思わぬ負傷をすることがあります。次のような場合は必ず、製品を停止してください。
 - ①移動や作業が終了して、本機を持ち運びする場合。
 - ②切粉などを取り除く場合。
 - ③作業中に後方より声をかけられた場合、振り向く前に製品を停止してください。
- ・ 切断した枝が落ちてきて思わぬけがをすることがあるため、枝の落ちる方向を十分注意してください。
- ・ 傾斜地などは滑りやすいので足元に十分注意してください。

5. 作業後の注意

- ・ 製品を停止した直後のギヤケース、ガイドバーおよびチェーン刃などは高温になっています。チェーン刃の調整または取りはずしは、高温の各部が冷めてから行ってください。
- ・ 作業後の点検・整備を行うときは、スイッチを切り製品を停止してください。
 - ①充電式製品はバッテリーを抜いて作業してください。
 - ②エンジン製品はエンジンが冷めてから、スパークプラグのプラグキャップをはずしてください。
- ・ 作業が終わって移動または収納を行う場合は、必ずチェーン刃にチェーンカバーを取り付けてから行ってください。
- ・ 作業終了後はバーホルダ、ガイドバーおよびチェーン刃をはずし、切粉などを除去し、付着したチェーンオイルを拭き取ってください。
- ・ 収納後、チェーンオイルが地面に垂れる場合があります。保管場所に注意してください。
- ・ 本機は立て掛けて保管しないでください。不意に倒れるなどして、思わぬ事故の原因になります。

その他の注意事項は、ポールソーアタッチメントを取り付けるお手持ちの製品の取扱説明書をご参照ください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ チェーンカバー
- ・ レンチ 13-16
- ・ ガイドバー
- ・ チェーン刃

使い方

製品への取り付け

⚠ 警告

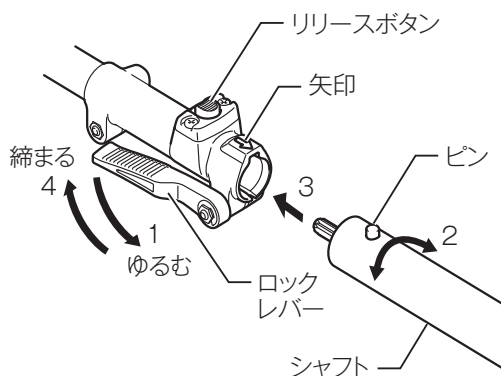
ポールソーアタッチメントの取り付け・取りはずしの際は、製品のスイッチを切り、充電式製品は、バッテリーを抜いてください。エンジン製品はスパークプラグからプラグキャップをはずしてください。

- ・ 不意に製品が作動して、けがの恐れがあります。

1. ロックレバーがゆるんでいることを確認します。
2. 矢印マークにピンの位置を合わせます。
3. シャフトを製品の奥まで差し込み、リリースボタンが上がるのを確認します。
4. ロックレバーを矢印（4）の方向に動かし、しっかり固定します。
 - ・ 取りはずすときは、ロックレバーをゆるめ、リリースボタンを押してシャフトを抜いてください。

注

- ・ シャフトが挿入されていない状態でロックレバーを締めないでください。破損の原因になります。また、リリースボタンが上がっていない状態でロックレバーを締めないでください。



使い方

チェーン刃の取り付け・調整および取りはずし方

⚠ 警告

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け・取りはずしの際は、必ず製品のスイッチを切り、充電式製品は、バッテリーを抜いてください。エンジン製品はスパークプラグからプラグキャップをはずしてください。

- ・ 不意に製品が作動して、けがの恐れがあります。

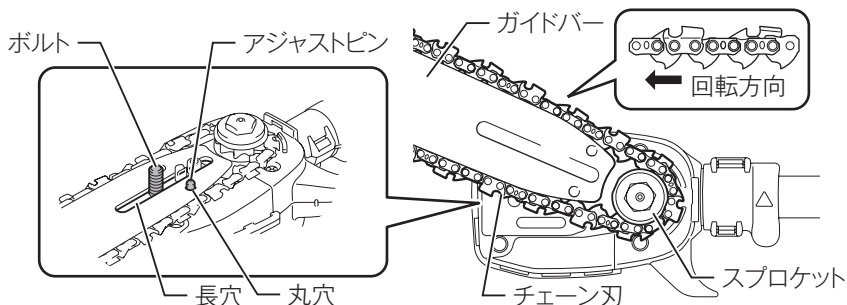
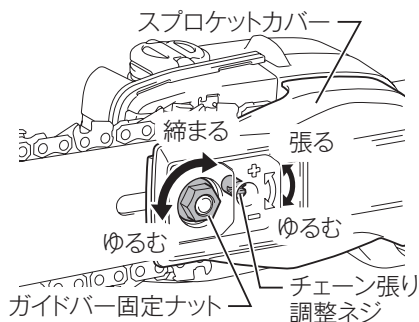
⚠ 注意

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け・取りはずしの際は、必ず手袋をはめて行ってください。

- ・ けがの原因になります。

チェーン刃の取り付け方

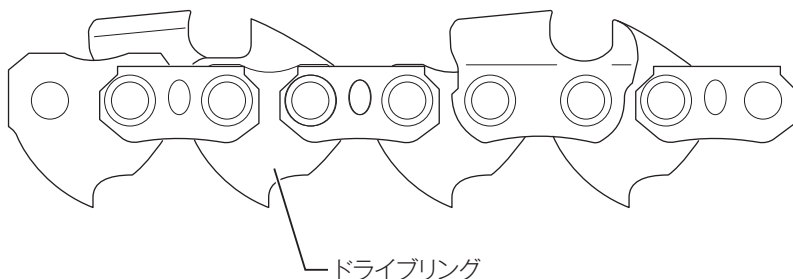
1. レンチ 13-16 を使用してガイドバー固定ナットをゆるめ、スプロケットカバーを取りはずします。
2. ガイドバーのレール溝にそってチェーン刃をガイドバーに取り付けます。
 - ・ アジャストピンを動かすには、右図のチェーン張り調整ネジを回します。
 - ・ チェーン刃は下図の矢印方向に回転しますので、チェーン刃を下図のようにセットしてください。
3. チェーン刃をスプロケットにかけながら、ガイドバーを本製品にセットします。
 - ・ この際、ガイドバーの長穴と丸穴を、本製品のボルトとアジャストピンそれぞれを合わせて取り付けてください。



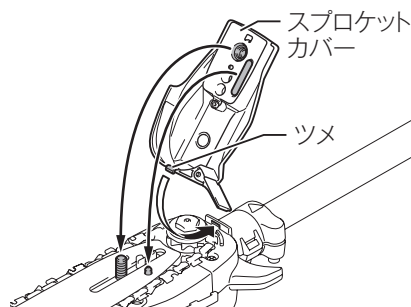
使い方

注

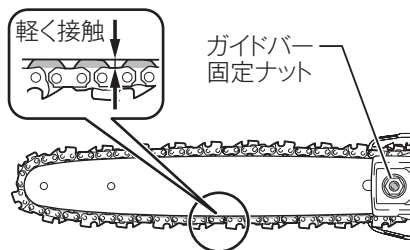
- チェーン刃をスプロケットにかける際に、チェーン刃のピッチがスプロケットの歯と噛み合っていることを確認してください。
- チェーン刃のドライブリンクがスプロケットの上に正しく載っているか、チェーン刃がガイドバーのレール溝にきちんとはまっているかを確認してください。



4. スプロケットカバーのツメを本製品の溝に入れ、アジャストピンと本製品のボルトをスプロケットカバーに合わせて取り付けます。



5. レンチ 13-16 を使用してガイドバー固定ナットを仮締めします。
6. ガイドバーの先端を軽く持ち上げながら、チェーン張り調整ネジをレンチ 13-16 を使用して、チェーン刃の張りを調整します。
- ガイドバー底部にチェーン刃が軽く接触する程度に調整してください。
 - チェーン張り調整ネジは手順 1 の図のように (+) 側に回すとチェーン刃の張りが強くなり、(-) 側に回すとチェーン刃の張りが弱くなります。



使い方

- チェーン刃の張り調整完了後、ガイドバー固定ナットをしっかりと締め付けます。

注

- チェーン刃の張りすぎは、ガイドバーの摩耗やチェーン刃破損の原因になります。必ず適正な張りに調整してください。
- チェーン刃が新しいうちは伸びやすいので、チェーンの張りをこまめに調整してください。
- チェーン刃の張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。
- ガイドバーは両面使用できます。ガイドバーのかたよった摩耗を防ぐため、新品のチェーン刃に取り替えるたびに、ガイドバーを反転してご使用ください。

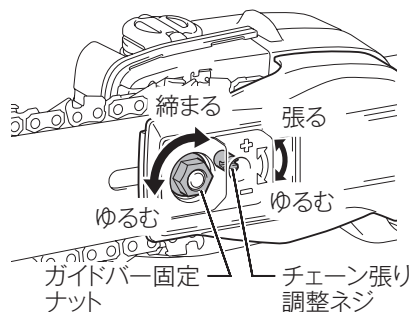
チェーン刃の調整

⚠ 警告

チェーン刃は、必ず適正な張りに調整してください。

- 張り方がゆるいと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。

- レンチ 13-16 を使用してガイドバー固定ナットを少しゆるめます。
- チェーン張り調整ネジでチェーン刃の張りを調整します（手順は 10 ページ参照）。

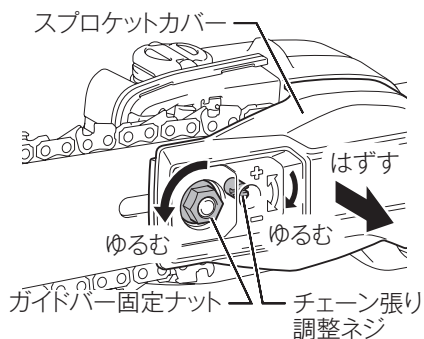


- ガイドバーの先端を軽く持ち上げて、レンチ 13-16 を使用してガイドバー固定ナットをしっかりと締め付けます。
- チェーン刃にたるみがないことを確認します。
 - チェーン刃をガイドバー中央付近で軽く持ち上げて前後にスムーズに動かせるぐらいが目安です。

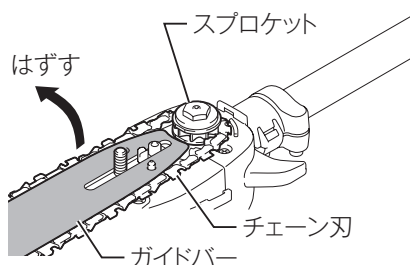
使い方

チェーン刃の取りはずし方

1. レンチ 13-16 を使用してガイドバー固定ナットを完全にゆるめ、スプロケットカバーを取りはずします。
2. レンチ 13-16 を使用してチェーン張り調整ネジを（－）側いっぱいに戻し、チェーン刃の張りをゆるめます。



3. ガイドバーとチェーン刃をスプロケットから取りはずします。



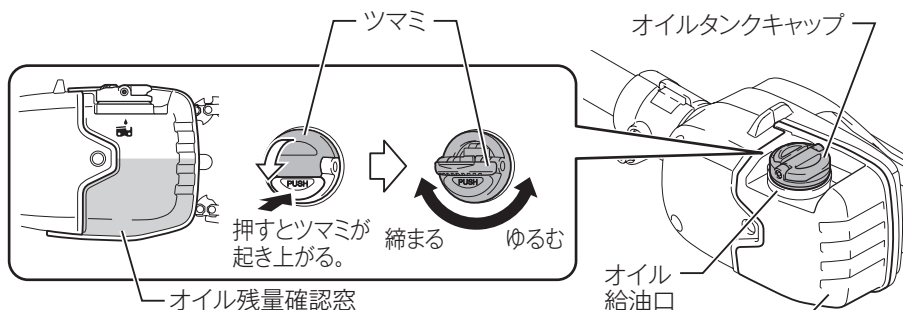
⚠ 注意

お使いになるときは、オイルタンクにチェーンオイルを入れてください。
チェーンオイルは、マキタ純正チェーンオイルまたは市販の専用チェーンオイルをお使いください。
ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。

チェーンオイルの補充方法

- ・ 使用前に必ずオイルタンクにチェーンオイルを入れてください。
- ・ 作業中もオイルタンク内のチェーンオイル残量を確認し、少ない場合は補充してください。

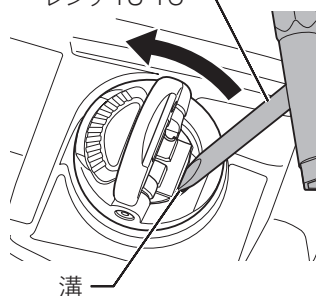
1. オイル給油口のオイルタンクキャップを取りはずします。



- ・ キャップがゆるまないときは、レンチ 13-16 の先端を溝に入れて回してください。

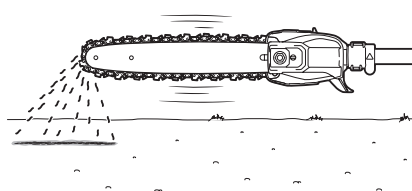
2. オイル給油口からオイルを入れます。

- ・ オイルタンクの容量は約 0.16 L です。
- ・ 補充後はキャップを元通りに閉じます。



3. 補充後、木から離れた状態で本製品の電源を入れ、チェーン刃にオイルが適切に行き渡るまで作動させます。

- ・ チェーンオイルはチェーンソーを運転すると自動的に給油されます。

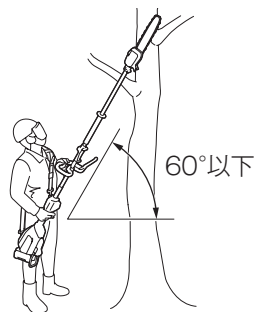


使い方

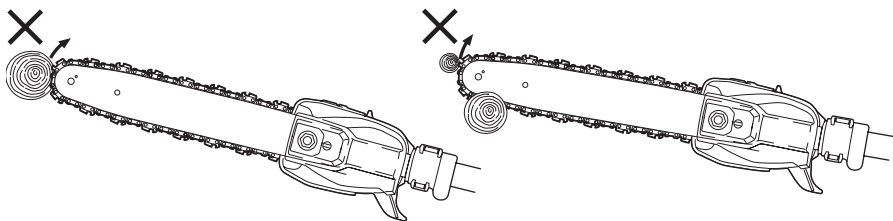
切断作業

⚠ 警告

- ・ 切断する枝の真下付近には決して立たないでください。真下に落ちることもありますし、他の枝や地面に跳ね返って思わぬ方向に落ち、作業者に当たってけがをする恐れがあります。
- ・ 周りの人は 15 m 以内には近づけないようにしてください。
- ・ 悪天候時には作業しないでください。
- ・ 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。また、ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
- ・ 転倒してけがの原因になります。
- ・ このポールソーには感電防止の絶縁処理はなされていません。感電の恐れがありますので電線から 15 m 以上離れて作業してください。
- ・ 本製品が高電圧線に接触したり近づいたりすると、重症あるいは、致命傷を負う恐れがあります。本製品と高電圧線間は常に最低 15 m 空け、どんな物体も電圧線に触れないように注意してください。この安全距離内で作業する場合は、必ず電力会社に連絡して作業前に電力を切ってください。
- ・ 作業はシャフトの傾きが 60° 以下になる位置に立って行ってください。



- ・ 落ちてきた枝が作業者のほうに落ちる場合もありますので、足場のしっかりした、もしもの場合に逃げやすい場所に立ってください。
- ・ ガイドバーの先端部での、切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないよう作業してください。
- ・ 本製品が跳ね返り（キックバック）、けがの原因になります。



使い方

⚠ 警告

作業時には帽子またはヘルメット、防護メガネ、防振手袋、耳栓、安全ぐつ、長そで、長ズボン、さらに粉じんや切粉が多く健康を害する恐れがある場合には防じんマスクを着用してください。

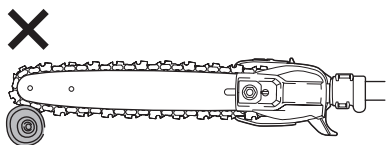
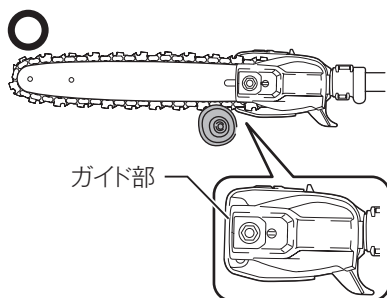
- ・ 本製品を動かし、チェーン刃を軽く枝に押し当てて切ります。
- ・ 回転数が低い状態で枝に強く押し当てて作業すると切断能力が落ちます。

注

- ・ チェーン刃を枝に強く押し付けて切ると、疲れるばかりでなく、チェーン刃やガイドバーの摩耗を早めます。
- ・ チェーン刃を枝に強く押し付けないと切れない場合は、切れ味が低下していますので研ぎなおすか、新品のチェーン刃と交換してください。

樹木の剪定

- ・ ガイド部に枝を軽く押し付け、チェーン刃を枝より離して製品を動かし枝を切断します。
- ・ 枝が落ちやすいように下の枝から順に切断してください。



注

- ・ ガイド部に枝が接していないと本製品がガイド側に引っ張られ、刃先がブレますので注意してください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備をする際は、製品のスイッチを切り、充電式製品は、バッテリーを抜いてください。エンジン製品はスパークプラグからプラグキャップをはずしてください。

- ・ 不意に製品が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

点検・整備の際には必ず手袋をはめて行ってください。

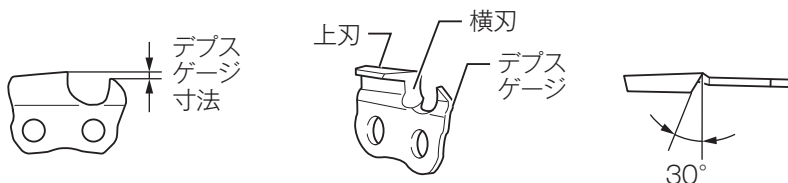
- ・ チェーン刃に手が触れ、けがの原因になります。

上刃および横刃の目立て

⚠ 警告

チェーン刃は正しく目立てしてください。

- ・ 特にデプスゲージ寸法が大きくなりすぎますと、チェーン刃が切断しやすくなり、けがの原因になります。

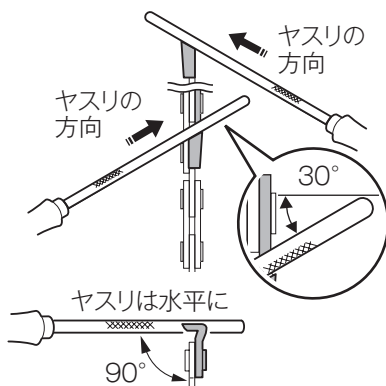


保守・点検について

- ガイドバーに対して丸ヤスリを 30° 傾け、丸ヤスリの直径の $1/5$ が上刃より出るようにチェーン刃に当ててください。



- 丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけてください。
- 手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。

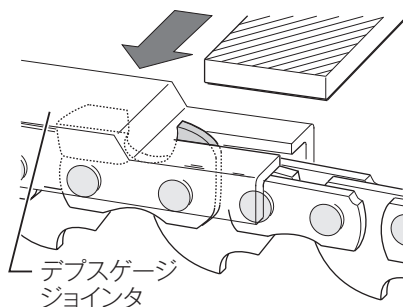


注

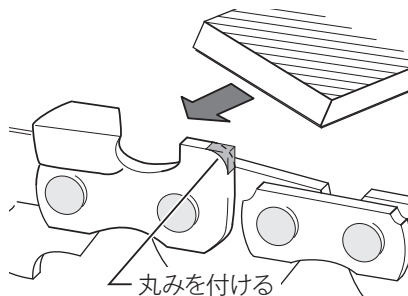
- 刃部の目立てには、外径が 4 mm（呼び 5/32 〃）の目立て専用丸ヤスリを使用してください。

デプスゲージの調整方法

- ・ デプスゲージはチェーン刃の切り込みしろを適正 (0.64 mm) に保つためのものです。
1. 別販売品のデプスゲージジョインタを図のようにセットし、溝から出た部分を平ヤスリで削り落とします。



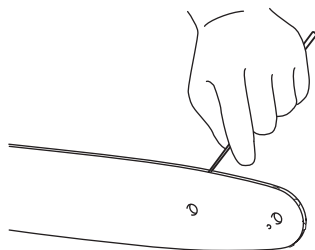
2. デプスゲージの角に丸みを付けます。
3. デプスゲージの調整が終わりましたら、オイルに浸して切り粉を洗い落とします。



保守・点検について

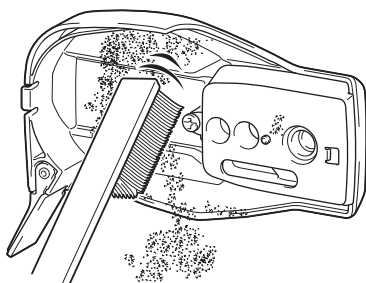
ガイドバーの清掃

- ・ ご使用中に、切屑がガイドバーにつまることがあります。切屑がガイドバーの溝につまると、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切屑を除去してください。



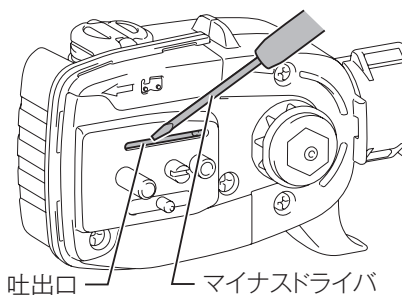
スプロケットカバーの清掃

- ・ スプロケットカバーの内側に、切屑がたまります。負荷が高くなる原因になりますので、ブラシなどで切屑を除去してください。



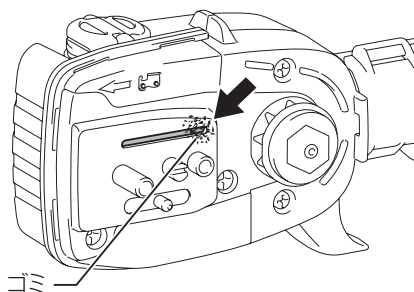
オイル吐出口の清掃

- ・ ご使用中に細かなゴミが吐出口につまることがあります。
- ・ ゴミが吐出口につまるとチェーンオイルの吐出量が少なくなり、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなる恐れがあります。
- ・ マイナスドライバの先端などで吐出口のゴミを取り除いてください。



- ・ ガイドバー先端からのチェーンオイルの吐出が少なくなった場合は、下記の手順で吐出口の清掃をしてください。

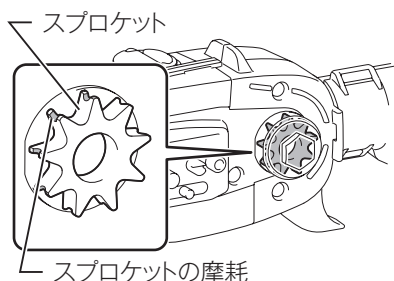
1. バッテリーを本製品から抜きます。
2. スプロケットカバー、チェーン刃を取りはずします (9 ページ「チェーン刃の取り付け・調整および取りはずし方」の項目参照)。
3. バッテリーを本製品に差し込み、電源を入れます。
4. スイッチの引金を引いて本製品のオイル吐出口にたまっている細かなゴミをチェーンオイルで洗い流します。
5. バッテリーを本製品から抜きます。
6. スプロケットカバーとチェーン刃を本製品に取り付けます。



保守・点検について

スプロケットの交換

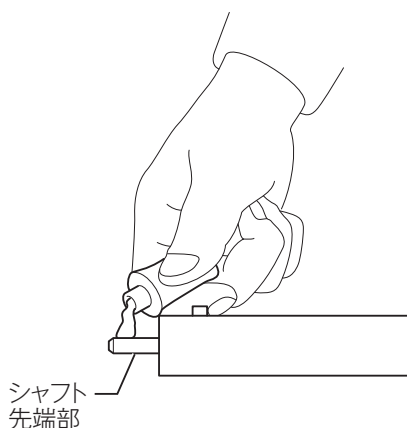
- ・ チェーン刃を交換するときにはスプロケットの状態を確認してください。
- ・ スプロケットの状態がイラストのように摩耗している場合、スプロケットの新品交換を当社営業所にお申し付けください。



グリスの補給

シャフト

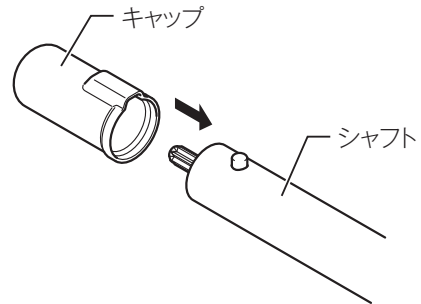
- ・ 25 時間使用毎にシャフト先端部にグリスを補給してください。
(シエルアルバニア No.2 相当)。



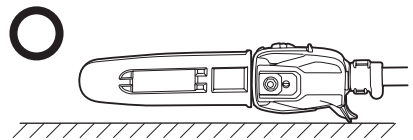
保守・点検について

保管

- ・ 本製品を製品から取りはずして保管する際は、シャフトの先端にキャップをかぶせてください。

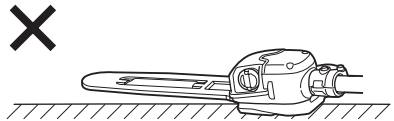


- ・ チェーン刃にチェーンカバーを取り付け、チェーン刃がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ・ 本製品はオイルキャップを上にして地面に対して水平に置いて保管してください。



注

- ・ 本製品のオイルキャップを横向きや下向きにしたり、本製品を傾いた場所に置いて保管したりすると、オイルが漏れ出る原因となります。
- ・ 本製品を立て掛けて保管すると、不意に倒れたりして思わぬ事故を引き起こす可能性があります。
- ・ 長時間ご使用にならない場合は、オイルタンクからチェーンオイルをすべて抜いて、乾燥したきれいな場所に保管してください。



注

- ・ 製品内部に残ったチェーンオイルが垂れてくる場合がありますので、保管場所には注意してください。
- ・ 長時間ご使用にならない場合は、防錆のためチェーン刃およびガイドバーにチェーンオイルまたは防錆油を薄く塗ってください。

保守・点検について

故障かな？と思ったら

- ・修理を依頼される前に、まずご自身で点検を行い、その上でなお異常があるときは、取扱説明書の記載内容以外はむやみに分解しないで、お買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所にお申し付けください。

不具合の状態	原因	対応
・製品が動かない ・動いてもすぐに止まってしまう ・回転が上がらない	製品の取扱説明書をご参照ください	
チェーン刃が動かない ↓ すぐに製品を停止する	ガイドバーの損傷	ガイドバーを交換してください
	小枝などの異物がチェーン刃に挟まった	異物を取り除いてください
	駆動系の異常	点検整備をお申し付けください
製品が異常に振動する ↓ すぐに製品を停止する	駆動系の異常	点検整備をお申し付けください
チェーン刃や本製品が止まらない ↓ エンジン製品の場合、エンジンをアイドルリングにしてチョークレバーを“閉”にして止める 充電式製品の場合、バッテリーを抜いて止める	製品の異常	製品の取扱説明書をご参照ください
チェーンオイルが供給されない	オイルタンクが空	オイルタンクにチェーンオイルを給油してください
	オイル吐出口のつまり	オイル吐出口やガイドバーのオイル穴を清掃してください

881G24-5
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）